

令和7年度

ま く は り 福 志 会

事 業 報 告 書

《幕張いもっこ保育園 事業報告》

姉妹園開園にあたり新園長・新主任・新卒3名・中途採用1名、在職者37名 計43名でスタートをきる。新体制であったが、現職員各々が《子ども達の為に》と力と心を合わせ保育する様子が見られ頼もしさを感じた。

そのような中で早期退職者、傷病職員がでたりと現場はかなり困惑したが、職員同士連携を保ちながら保育していた。職員の疲弊が保育に繋がらぬよう早めに人材確保を試み2名の経験者の入職が実現し現場環境改善に努めた。

新たな取り組みとして、職員会議を昼間に行う月を設定、毎週水曜ノー残業 day、ノンコンタクトタイムを導入し書類や制作等の時間を設け勤務時間内で仕事が終わるようにするなど職員の体調管理に努めた。

今年度、猛暑日が続き園庭で遊ぶ時間の確保が難しく幼児組のプール活動は中止とした。早めに園庭に出たり、保育室内での過ごし方を職員も工夫したりしていた。各クラスで遊びのコーナーを設け子どもが好きな遊びを選択できるようにし(テラスでの水遊びや室内でタライに水を入れ金魚すくい、寒天・氷遊び等) 夏ならではの遊びの体験ができていたことは職員の努力あってだと感謝する。次年度も園庭の日除けやミストなどを新たに購入・設置し子ども達が少しでも外気に触れ遊べる時間を作れるようにしていきたい。

地域交流(人形劇観賞会4家族参加): 園庭開放(当園の子ども達と同じ時間に遊ぶ、担当保育士が付き子育て相談もある): 七夕・クリスマス飾り作り等、保護者と子ども・地域との交流を目的に実施

事前にホームページや掲示板に載せ、今年度も多くの参加者と共に充実した時間を作り当園の雰囲気を感じられたのではと感じる。

次年度の改善方針

・職員間の連携強化

定例ミーティングの充実、情報共有の活用、役割分担の明確化により、連携体制の強化を図る。
座談会や対話の時間を意識的に設けコミュニケーションを円滑にする

・行事運営の効率化

役割分担を明確化し、準備負担の平準化と質の向上を図り子どもの主体性を育む内容へと充実させる。幼児: 学年ごとの運動会・3歳児親子運動会 発表会: 土曜開催

・保育の質向上と専門性の強化

研修、自主研修(法人補助2万円)の充実・個別支援の統一・食育(稲、さつまいも、夏野菜、クッキング等)・異年齢交流など当園の強みを活かした保育を継続し、子どもにとって安心できる場、安心できる大人であるよう職員一同志を同じく持ち保育にあたっていく。

《弁天はすのこ保育園 事業報告》

はじめに

一年間の共同保育・準備期間を終え、順調に4月開園となった。新園であり新卒保育士も多数採用したので、人員配置には余裕をもたせてのスタートであった。一つひとつの事柄を確認して明日の保育に備えることが必須で、話し合いの時間を多く要した。翌日準備のための超過勤務も多くなったため、NO残業デイを設ける、業務内容の視覚化、保育の方向性明確化のために運営会議を頻繁に開き、クラスリーダーたちに方針をおろして業務を進めていった。職員が疲弊しないように、働きやすい職場環境を作るよう努力をした。

運 営

公立保育所の保育運営を一部引き継ぐ申し合わせがあったので、その良いところは多く活用させてもらった。制限や制止のルールも多く感じられる面もあったので、「子ども主体の保育」を目指して、子どもがどう考えるか、やりたいことなのか、保育士主導の保育になっていないかなどの点を修正している。子ども達がやりたいことを意志表示するようになり、とことん集中して遊んだ後に輝く笑顔を見せてくれるようになってきた。私たちの方向性は間違っていないと実感している。子どもが、もの事に意欲的になれる環境作りをして、保育者も共に楽しいと思える保育を展開していきたい。

保育の方向性

保育を向上していくために、全職員で学ぶ必要性を感じ、園に講師を招いて園内研修会を行った。千葉市在住の講師で、楽しい遊びや歌を教えてください方をお招きしたが、経験年数の少ない保育士にとっては、まだ遊びの引き出しが少ない面があるので、保育で実際取り入れられる遊びを教えていただいたのが好評であった。勤務終了後に全員で参加し、内容を共有できたことが良かった。次年度にも続けていきたい。また、乳児担当では、休日誘い合い、自主的にわらべ歌の講習に参加していた。個人研修に法人で補助があるとことが後押しをしている。次年度は、年間計画を立て園内研修を充実させていきたい。

保護者対応

保護者さんは子どもの事はすべて知りたい、保育園とたくさんコミュニケーションをとりたいとの思いが強い、と感じながら対応している。職員みんな共感し励まし合う存在でありたいと考えている。また、保護者からの指摘事項については、必要に応じては主任・園長が進んで対応し、チームで早めの問題解決をはかっていきたい。

安全な運営

公立弁天保育所から移行してきた職員が、こまめに報告をする姿があり、事故につながりそう

な案件には、ヒヤリハットを書いて振り返ることを徹底する姿が良いお手本となっていた。そういった姿勢が、大きな事故を起こさず運営できた基本と考える。今後も継続していきたい。

今 後

保育士の育成 責任感を持って保育にあたることや、判断する時の留意点を伝え、判断力を付けていき、リーダー格へ成長していくことが大切と考える。新体制では、今後のリーダーとして期待できる人を、経験年数にこだわらずに配置し育てていきたいと考える。

また、時間の使い方を合理化しながら、働きやすい職場作りをして行きたい。

1. 法人の理念

地域で頼られ、役に立つ法人

2. 保育理念

- ・ひとりひとりを大切にする
- ・出会いを大切にする
- ・本物に出会う
- ・道徳心を培う

3. 保育目標

- ・心もからだも健やかな子ども
- ・よく考え行動し、やりぬく子ども
- ・よく遊び豊かな感性と創造性にあふれる子ども

4. 保育方針

- ・子どもの発達、特性を理解し一人ひとりが落ち着いた環境の中で安心安定した日々を送られるように配慮する。
- ・保護者との連携を密に、共に育て学ぶ姿勢を共有する。
- ・全職員で日々の出来事を共有し豊かな保育実践を目指す。
- ・食事は楽しく食べることを基本とする。
- ・地域とのつながりを大切に、様々な出会いに感謝する。

5. 施設運営

(1) 児童の処遇

ア 年齢別園児数

	年 齢	園児数	担当保育士数
つぼみ組	0 歳	5 名	2 名 ※内看護師 1 名
	1 歳児	1 4 名	3 名

おひさま組	2歳児	12名	3名
〈縦割り保育〉 うみ組 にじ組 そら組	3歳児	20名 ※要配慮児 1名	2名
	4歳児	19名 ※要配慮児 2名	2名
	5歳児	20名 ※要配慮児 2名	2名
	合 計	90名	

※一時預かり事業 1歳児 2名 保育士 1名

6. 職員の処遇

ア. 職員構成

園 長	1名
主任保育士	1名
正規保育士	15名
看護 師	1名
パート保育士	5名（有資格者4名）
事 務 員	1名
栄 養 士	1名
調 理 員	3名（パート含む）
嘱 託 医	2名（非常勤）

【園行事について】

5月：開園おめでとうの会を開催した。評議員のみなさんや設計士さん、池田工建さん、地域の方もいらしてくださり、「リズムライス ♪」さんのパフォーマンスと一緒に楽しんだ。

6月：保育参観、参加は、日程を多く設定したので、保護者全員が参加してくださった。子どもと一緒に走り、遊ぶことを楽しむ方も多く、子育てに熱心な方が多いことを感じた。

10月：運動会は「はすのこフェスティバル」というネーミングを子ども達が考え、やりたいこと、見せたいことは何だろうと話し合い進めて行った。当日は築山が保護者席となり、広い園庭で元気に運動、体操を披露し、親子競技を楽しんだ。終了時間が遅くなってしまったことで苦情があったので次年度は余裕のある時間をお知らせしたい。

2月：発表会は子ども達のやりたいことを発表した。ドレスは各自、好きな色で手作りして、いつものダンスを見せるなど、子どもがやりたいものを発表するということに取り組んだことで、

無理な緊張を与えず、いつものダンスを見せるなど、普段の様子を保護者に見せることができた。

人前で披露することが苦手な子には、無理強いせず、何を見てもらいたいかを話し進めて行ったところ、皆、安心して楽しそうに参加する姿があった。「子ども主体」の保育を目指し、今後も保育を深めていきたい。

3月：初めての卒園式は、職員みんなで飾り付けをして、心を込めてお祝いをした。全員が晴れ晴れしい表情で卒園証書を受け取る姿は感慨深いものがあった。無事小学校へ送ることができ、安堵している。

【保護者アンケート】

行事が終わった後には、アンケートで意見を聞いてきた。ICTで行うアンケートは回答率がよく率直な意見が聞けた。意見を言える場があることが、意見を言いやすいという安心感に繋がると思うので、今後も続けていきたい。

【給食】

子どもも大人も美味しいと言い、給食の時間を楽しみにしている。
毎日、写真つき献立を配信(スマホ)している。親子で夕食時の話題となっているようである。
夏祭りでは、納入業者さんもおはっぴを着て、綿あめ提供やお餅つきに協力をいただいて感謝している。